

コロナ予備費繰り越し

ワクチン経費 治療薬に流用も

政府が新型コロナウイルス対策のため2021年度に支出するなどした予備費計約9兆4000億円の執行状況を会計検査院が調べたところ、年度をまたいだ繰り越しや、関連事業への流用があったことが15日分かりました。厚生労働省は新型コロナウイルス経費と

検査院は、予備費の執行状況を公表し、多額の繰り越しが生じたこと、想定とは異なる目的に使ったりした場合、理由を丁寧に説明するように政府に求めました。

検査院は、予備費の執行状況を公表し、多額の繰り越しが生じたこと、想定とは異なる目的に使ったりした場合、理由を丁寧に説明するように政府に求めました。

検査院は、予備費の執行状況を公表し、多額の繰り越しが生じたこと、想定とは異なる目的に使ったりした場合、理由を丁寧に説明するように政府に求めました。

業では、年度をまたぐ日程で要求額を算出していましたが、内閣府と厚生労働省は「年度内に事業が完了すると想定していた」などと釈明しましたが、検査院は「短期間でどのよう完了すると想定していたのか判然としない」としています。

また、厚生労働省はワクチン接種体制の確保など事業で、治療薬の購入など当初の想定とは異なる事業に予備費相当額を使っていた。同省は「感染拡大防止を目的とした事業であり、目的の範囲内だ」と説明しているといっています。

検査院は、予備費の執行状況を公表し、多額の繰り越しが生じたこと、想定とは異なる目的に使ったりした場合、理由を丁寧に説明するように政府に求めました。

検査院は、予備費の執行状況を公表し、多額の繰り越しが生じたこと、想定とは異なる目的に使ったりした場合、理由を丁寧に説明するように政府に求めました。